

評 定 段 階 : 1

KEYWORD : *strong*

Capital Adequacy (自己資本)	金融機関のリスク特性に対して 強固な資本水準 にある。
Asset Quality (資産内容)	強固な資産内容 を有し、与信管理が行われている。認識される弱点は軽微であり、資本の保持と経営能力に関するリスクエクスポージャーは小さい。
Management (経営管理)	経営側と取締役会によって 強いパフォーマンス を持ち、金融機関の規模、複雑さ及びリスク特性に応じた確固たるリスク管理が行われている。すべての主要なリスクは一貫して、効果的に特定し、測定し、監視し、統制されている。経営陣及び取締役会は、既存又は潜在的な問題やリスクに迅速かつ適切に対処する能力を持っている。
Earnings (収益性)	強固な収益力 を持っている。資産価値、成長率、収益の質、量及び傾向といったその他の要因を考慮しても、収益は、運営、十分な資産と引当水準を維持するのに十分満足のいくものである。
Liquidity (流動性)	強い流動性レベル があり、十分に練られたファンドマネージメントが行われている。現在及び将来予想される流動性ニーズに対処するにあたり、好条件で十分な量の資金を調達できる信頼性の高い手段を持っている。
Sensitivity to Market Risk (市場リスク感応性)	市場リスク感応性が うまく統制 されており、収益状況や資本の状態に悪影響を与える可能性はごく僅かである。金融機関の規模、知識、受容した市場リスクに鑑みて確固たるリスク管理が行われている。収益と資本は、金融機関が有する市場リスクに対して十分な支援を提供できる水準にある。

評 定 段 階 : 2

KEYWORD : *satisfactory*

Capital Adequacy (自己資本)	金融機関のリスク特性に対して 十分な資本水準 にある。
Asset Quality (資産内容)	十分な資産内容 を有し、 十分な与信管理 が行われている。分類及びその他の弱点の水準や重大性を踏まえた監督上の懸念は小さい。リスクエクスポージャーは、資本の保持及び経営能力に見合っている。
Management (経営管理)	経営側及び取締役会は、金融機関の規模、複雑さ、リスク特性に応じた、 十分なパフォーマンスとリスク管理 が行われている。軽微な弱点はあるものの、金融機関としての健全性に重大な影響を及ぼすものではなく、何らかの対応もなされている。概ね、主要なリスクや問題点は効率的に特定し、測定し、監視し、統制されている。
Earnings (収益性)	十分な収益力 がある。資産価値、成長率、収益の質、量及び傾向といったその他の要因を考慮して、収益力は、運営、十分な資産と引当水準を維持するのに満足できるものである。上記の査定要素の観点において収益性のレベルが十分であったとしても、収益性が比較的停滞もしくは若干衰退している場合は、評価2が付与される可能性がある。
Liquidity (流動性)	十分な流動性レベル があり、ファンドマネージメントが行われている。現在及び将来予想される流動性ニーズに対処するにあたり、無難な条件により十分な量の資金調達を行える水準を有している。ファンドマネージメントにおいて軽微な弱点が見られる可能性はある。
Sensitivity to Market Risk (市場リスク感応性)	市場リスク感応性が 適切に統制 されており、収益状況や資本の状態に悪影響を与える可能性はあまり高くない。金融機関の規模、知識、受容した市場リスクに鑑みて、十分な水準のリスク管理が行われている。収益と資本は、金融機関が取る市場リスクに見合った支援を提供できる水準にある。

評 定 段 階 : 3

KEYWORD : *less than satisfactory , in need of improvement*

Capital Adequacy (自己資本)	金融機関のリスク特性を支えるには 不十分な資本水準 にあり、 改善の必要 がある。
Asset Quality (資産内容)	資産内容又は与信管理が不十分な水準 にある。資産の質の劣化や、リスクエクスポージャーの増加の兆候が見られる。分類資産や、その他の弱点、諸リスクのレベルと重大性に鑑みて高いレベルの監督上の留意を要する。 与信管理とリスク管理の改善が必要 。
Management (経営管理)	経営陣と取締役会のパフォーマンスに改善の必要 があり、金融機関としての 特性及び業務に応じたリスク管理としては不十分な水準 にある。金融機関としての類型、規模、コンディションに鑑みると、経営陣と取締役会の手腕は、不十分である。問題点および主要リスクが十分には特定、測定、監視、統制されていない。
Earnings (収益性)	収益性につき改善の必要 がある。金融機関の全体的な状態、成長率、収益の質、量及び傾向といったその他の要因を考慮して、資本および引当水準の増大や、運営を十分に支援していない恐れがある。
Liquidity (流動性)	流動性の水準もしくはファンドマネージメントにおいて改善の必要 がある。妥当な条件での資金調達手段に不安がある場合や、ファンドマネージメントにおいて見過ごせない弱点が見られる場合など。
Sensitivity to Market Risk (市場リスク感応性)	市場リスク感応度について改善が必要 もしくは、収益状況又は資本の状態に悪影響を与える見過ごすことのできない潜在的可能性がある。リスク管理は、金融機関の規模、知識、受容した市場リスクに鑑みて改善が必要である。収益と資本は、金融機関が取る市場リスクに対して必ずしも十分な支援を提供できているとは言えない。

評 定 段 階 : 4

KEYWORD : *deficient*

Capital Adequacy (自己資本)	過小資本状態 にある。金融機関のリスク特性を踏まえると、金融機関としての存続が脅かされる恐れがある。
Asset Quality (資産内容)	資産内容又は与信管理に欠陥 がある。リスクと問題資産のレベルは深刻であり、コントロールは不十分である。このまま含み損が放置されれば、金融機関としての存続が脅かされる恐れがある。
Management (経営管理)	経営側および取締役会の パフォーマンスもしくはリスク管理に欠陥 があり、金融機関としての業務の特性の考慮が不十分となっている。問題点及びリスクエクスポージャーの水準は過大である。問題点及び主要リスクは、十分な特定、測定、監視及び統制が行われておらず、金融機関としての健全性を維持するためには、経営側および取締役会による早急な措置が求められる。経営側もしくは取締役会の交代または強化の必要のおそれがある。
Earnings (収益性)	収益力に欠陥 がある。収益力が、オペレーション・適切な資本水準・引当水準を維持するためには不足している。評定4の金融機関は、前年もしくはここ数年の純利益や純利子差益の異常なばらつき、深刻なネガティブな傾向の発生、脆弱な収益力、断続的な損失の発生、収益の大幅な落ち込みといったものが見られる可能性がある。
Liquidity (流動性)	流動性の水準もしくはファンドマネージメントに欠陥 がある。流動性ニーズに対処するにあたり、相応な条件での必要量に見合う資金調達の手段を持っていない。又は行うことができない。
Sensitivity to Market Risk (市場リスク感応性)	市場リスク感応性について容認できない、 もしくは収益状況又は資本の状態に悪影響を与える可能性が高い。リスク管理は、金融機関の規模、知識、受容した市場リスクに鑑みて懸念がある。収益と資本は、金融機関が取る市場リスクに対して不十分な水準である。

評 定 段 階 : 5

KEYWORD : *critically deficient*

Capital Adequacy (自己資本)	著しい過小資本状態 にある。金融機関としての存続が脅かされており、株主やその他外部からの早急な財政上のサポートが必要である。
Asset Quality (資産内容)	資産内容又は与信管理に重大な欠陥 があり、金融機関としての存続の危機が差し迫っている。
Management (経営管理)	経営側及び取締役会の パフォーマンスもしくはリスク管理に重大な欠陥 がある。経営側及び取締役会は問題点を解決し、適切なリスク管理能力を持っていない。問題点および主要リスクは十分な特定、測定、監視及び統制が行われておらず、現状、金融機関としての存続が脅かされている。経営側もしくは取締役会の交代または強化が必要である。
Earnings (収益性)	収益性に重大な欠陥 がある。評定5の金融機関は、資本の目減りによって、その存続を脅かす明確な脅威である損失に直面している。
Liquidity (流動性)	流動性の水準もしくはファンドマネージメントに重大な欠陥 があり、金融機関としての存続が脅かされている。期日が近接した債務またはその他の流動性必要性に対処するために早急な外部からの財政支援が必要である。
Sensitivity to Market Risk (市場リスク感応性)	市場リスク感応性について容認できない、もしくは金融機関として取る市場リスクの水準は、差し迫ってその存続を脅かすものである。リスク管理は、金融機関の規模、知識、受容した市場リスクに鑑みて 重大な欠陥 がある。

リスクのスコア化と行政措置の関連（UKFSA：ARROW）

把握したビジネスリスク及びコントロールリスクを行政目的と関連付けるために、各々RT0グループ毎にリスク要素をスコア化する。

スコア化のプロセスにおいては4つの段階を用いる－すなわちハイ(High)、ミディウム・ハイ(Medium High)、ミディウム・ロー(Medium Low)、ロー(Low)である。

- | | | |
|---------------|--------|---|
| ・ Low | 標準的スコア | ： 何らの措置(action) もとられない |
| ・ Medium Low | 注意を要する | ： 何らかの措置(action)をとるか否かは選択的(optional) |
| ・ Medium High | リスクが顕著 | ： リスク削減が行われなければ、何らかの措置(action)がとられる可能性が高い(likely) |
| ・ High | リスクが高い | ： リスク削減が行われなければ、何らかの措置(action)がとられることが必要(necessary) |

行政上の手段を、それらの目的に応じ分類する(二つ以上の目的に使用されるものもある)：

- ・ 診断(Diagnostic)：リスクを特定し計測するための措置
- ・ 監視(Monitoring)：リスクを監視するための措置
- ・ 予防・防止(Preventative)：リスクを削減するための措置
- ・ 治療・回復(Remedial)：実現したリスクに対処するための措置

特にコントロールリスク側でハイ、ミディウム・ハイと見なされたリスクは、一般的にリスクを削減する措置が必要であり(貴社の側における場合もあれば我々から行う場合もある)、通常は予防的あるいは改善の措置がとられる。ミディウム・ローの要素に対する行政措置は監視的な措置が採られる。例えば特定のリスクの変化を監視するためのオフサイトによる検証が用いられる。さらにリスクに関してより多くの情報が必要な場合には診断的な措置が採られる。ローと評価された要素については更なる措置は採られない。

リスクのスコア化と行政措置の関連（UKFSA : ARROW）

一般的な
対応関係

リスクスコア			
1	Low	標準的スコア	何らの措置 (action) もとられない
2	Medium Low	注意を要する	何らかの措置 (action) をとるか否かは選択的 (optional)
3	Medium High	リスクが顕著	リスク削減が行われなければ、何らかの措置 (action) がとられる可能性が高い (likely)
4	High	リスクが高い	リスク削減が行われなければ、何らかの措置 (action) がとられることが必要 (necessary)

行政上の手段	
・ 診断 (Diagnostic)	リスクを特定し計測するための措置
・ 監視 (Monitoring)	リスクを監視するための措置
・ 予防・防止 (Preventative)	リスクを削減するための措置
・ 治療・回復 (Remedial)	実現したリスクに対処するための措置